

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつ先生！” 地域が支える教育の板橋
“学び合う、学び続ける人づくり！” 地域を創る教育の板橋

新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

緊急事態宣言を受け、区立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策を公表いたしました。区公式ホームページからご確認ください。

また、板橋区立幼稚園・小中学校感染症予防ガイドラインに基づく感染症対策を徹底するとともに、緊急事態宣言期間は、緊急事態宣言の趣旨を踏まえた万全な感染症対策を徹底しますので、ご理解とご協力をお願いします。



【お子さま・ご家族の体調不良時の対応】

以下の場合、大事をとって学校（園）をお休みください。

○お子さまが体調不良の場合

○お子さま・ご家族が新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者となった場合

○お子さま・ご家族が新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合

※お子さま・ご家族を問わず、PCR検査を受けることになった場合や濃厚接触者となった場合、またその検査結果について、必ず学校（園）にご連絡をお願いします。

スマートフォン、携帯電話で読み取り、区のホームページへ



【問合せ】学務課学校運営保健係 ☎3579-2616

12月3日に「読み解く力」中間報告会が行われました！

「読み解く力」とは

教科書等の文章や図表等から読み取ったことを基にして、
分かったこと、考えたことを相手に伝える力

令和元年度より、板橋第一中学校・板橋第二小学校・板橋第六小学校・板橋第七小学校の4校（板一中 小中一貫学びのエリア）で、「読み解く力」を育む授業について研究を進めています。今回、この4校による公開授業を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から人数を制限しての公開でしたが、区内小・中学校の先生方に向けて、「読み解く力」の育成をめざした授業の提案をしました。

また、同日に板橋区立文化会館にて、「板橋のi（あい）カリキュラム」（読み解く力）についての経過報告や、国立情報学研究所教授の新井紀子先生と授業づくりについて、パネルディスカッションを行いました。

引き続き、板橋区では「読み解く力」を育成し、学力の定着・向上を図るとともに、生涯にわたって学び続ける力の素地を育むことをめざします。



【問合せ】指導室 ☎3579-2643

～いたばし子ども絵本展を開催します～

今年も3月4日（木）より区役所1階にて「いたばし子ども絵本展」を開催します。

会場では、いたばしポローニャ子ども絵本館が所蔵する絵本の紹介や、絵本づくりワークショップで小学生・中学生が作成した絵本の展示、「第27回いたばし国際絵本翻訳大賞」中学生部門入賞作品の展示を行います。

また、3月12日（金）16時から「いたばし国際絵本翻訳大賞」中学生部門の表彰式を会場内で行う予定です。

皆さんのお越しをお待ちしております。

■期間：3月4日（木）～3月12日（金）

■時間：9時～17時 ※6日（土）と7日（日）を除く

■費用：無料

■場所：板橋区役所1階 イベントスクエア（板橋区板橋2-66-1）



【問合せ】いたばしポローニャ子ども絵本館 ☎6281-0560



←こちらから学校訪問の様子がご覧になれます。

また、板橋区公式ホームページからもアクセスできます。

学校訪問

検索

1月24日～1月30日は 全国学校給食週間です

◆全国学校給食週間とは◆

日本の学校給食は、明治22年（1889）に山形県の小学校で始まり、各地で実施されるようになりました。一時、戦争などの影響で中断しましたが、戦争が終わり、支援助物資の供給により給食が再開しました。給食への感謝とその意義を考え、教育効果を促進する観点から設けられたのが、「全国学校給食週間」です。

◆板橋区学校給食 おいしさのポイント◆

- ・献立の配慮
学校栄養士が栄養バランス、季節の食材や行事を考えて献立をたてています。
- ・食育の推進
板橋区の畑や、板橋区とゆかりのある町でとれた野菜を使った給食を実施しています。
（板橋ふれあい農園会給食・とれたて村給食）
- ・各学校で作った給食
各学校の調理室で作ったできたての給食を提供しています。昆布や削り節から丁寧にだしをとり、カレーなどのルウも手作りです。



【問合せ】学務課学校給食係 ☎3579-2617

区立小中学校・幼稚園の 冷暖房機の設置・更新工事について

○教室等の冷暖房機の更新工事について

区立小中学校及び幼稚園のうち67校園（小学校47校、中学校18校、幼稚園2園）を対象として、教室等に設置された冷暖房機を新しく入れ替える工事を、令和元年12月より順次実施してまいりました。令和3年2月末に、対象校全ての工事が完了する予定です。工事期間中はご不便をおかけしましたが、ご協力いただきありがとうございました。

○屋内運動場への冷暖房機の設置工事について

令和2年度は、35校（小学校26校、中学校9校）を対象に、順次設置工事を実施しています。令和3年度末までに、区立全小中学校の屋内運動場に冷暖房機を設置できるよう進めています。




【問合せ】新しい学校づくり課 学校施設グループ ☎3579-2608

親子でさわって！さつえい！フィルムカメラ！

「親子でさわって！さつえい！フィルムカメラ！」を開催いたします。郷土資料館や古民家でフィルムカメラのマニュアル撮影をします。イベント後フィルムを現像・プリントし、感想を添えて当館にお持ちいただきましたら常設展示室で感想と共に紹介します（送付でも可）。最高一枚、撮ってみませんか？参加後にプリントした写真を展示室で紹介する記念コーナーも設けています。当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ開催いたしますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。ご応募お待ちしております。



日にち	2月21日、3月14日（いずれも日曜日）
時間	各日、午前10時30分／午後1時30分 各1回制
対象	区内在住・在学の小学生・中学生とその保護者
定員	各回3組（応募者多数の場合は抽選）
費用	フィルム代として700円（現像代・プリント代は別途自己負担）
申込方法	詳細は公式ホームページをご確認ください。応募方法詳細⇒ 

樺太アイヌ～人類学者、樺太へ渡る～

令和2年、北海道白老町にウボポイ（民族共生象徴空間）と日本で8番目の国立博物館となる国立アイヌ民族博物館が開館しました。開館を記念して、当館が所蔵する石田収蔵が収集した樺太アイヌ、ウィルタ、ニヴフの資料や調査記録を紹介します。



石田は、東京帝国大学の人類学教室を主宰していた鳥居龍蔵の次席に当る人物で、明治から昭和初期にかけて樺太のアイヌ、ウィルタ、ニヴフの民俗調査に出かけたことが葉書や写真から判明しています。また、大正9年（1920）から亡くなるまで赤塚村徳丸（東武練馬駅のイオン板橋周辺）に住み続けました。石田の資料は、当時のアイヌの人々の聞き取りや風俗を知ることができる貴重な記録となっています。博物館の開館を機に、異文化を学び尊重するきっかけとします。

展示名	コレクション展 「樺太アイヌ～人類学者、樺太へ渡る～」
日程	令和2年12月1日(火)～令和3年3月31日(水)
休館日	月曜日 ※ただし祝日の場合は開館、翌火曜日が休館
時間	9時30分～17時（入館は16時30分）
費用	無料

【問合せ】郷土資料館 赤塚5-35-25 ☎ 5998-0081

発行・編集

板橋区教育委員会事務局教育総務課庶務係 TEL3579-2603 FAX3579-4214
〒173-8501 東京都板橋区板橋2-66-1
E-mail:ky-shomu@city.itabashi.tokyo.jp